

マクール杯 ヴィーナスシリーズ第2戦

平和島 4月13日~18日

WINNER 清水沙樹



夢かと思っています。本当に嬉しい。5日目にまくった時に1マークでは落としすぎたので、落としすぎないようにと思って回りました。後はなるようになれと思って…。今節は自分の好きな伸び加減の調整がうまくハマってくれたと思います。

**伸び型の調整が見事にハマった清水沙樹が
5コースから勢いよくまくって東京3場制覇!**

平和島のマクール杯はヴィーナスシリーズとして行われた。当シリーズは初日こそ冷たい雨が吹きつけたが、2日目以降は強い夏のような日差しが照り付け、気象条件もホーム側に6、7mの追い風が吹くまさに夏の状況下。2、4日目は安定板装着、日によっては周回短縮で争われることとなった。

そんなシリーズだったこともあり、調整や水面にいち早く対応できた選手が優位に運んだ。特に清埜翔子は2日目から4連勝する活躍であつさり予選1位通過。また強力機を操る片岡恵里や藤堂里香も準優勝1枠を手に入れた。準優勝3番勝負も安定板装着こそなかったが、強いホーム追い風が吹き藤堂、片岡が敗れる中、清埜は危なげなく逃げて優勝戦1枠を獲得。昨年7月以来の優勝に王手をかけたが、地元の清水沙樹がそうはさせなかった。5枠でファイナル入り

を決めた清水はチルトを1・5度に跳ねて登場。コンマ06のスタートから一気に飛び出すと内4艇をまくり切り勝負をつけた。最近「出足をつける調整が分かんなくなることが多くて今年に入って自分の好きな形に戻してみました」と清水。その効果で3月の江戸川に続く連続V。東京3場制覇も決め「素直に嬉しいです。選手としての目標だったので、また新たな目標を立てたいです」と笑顔で話していた。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	⑤	清水 沙樹	5	06	1.50.0
2	①	清埜 翔子	1	11	1.50.3
3	⑥	関野 文	6	13	1.53.8
4	②	廣中智紗衣	2	19	1.53.9
5	③	今井 裕梨	3	19	
6	④	寺田 千恵	4	17	

2連単 ⑤-① 1200円 5番人気
3連単 ⑤-①-⑥ 4690円 18番人気

選手会通信



カヌーの運搬をサポート



坂道でのサポート



香川支部選手が パラアスリートをサポート

3月28・29日に、香川県坂出市「府中湖カヌー競技場」において「パラカヌー日本代表選考会」が行われ、香川支部所属選手計12名と職員3名がボランティアスタッフとして参加した。

開催地である府中湖カヌー競技場は、競技艇置き場からピットまでの間に約20度の急坂があり、車いすで移動するパラアスリートにとっては大きな負担となるため、ボートレーサーたちが移動をサポート。下り坂ではパラアスリートがバランスを崩さないよう慎重に支え、上り坂では一気に上りきれるよう力いっぱい押して、パラアスリートの安全かつスムーズな移動に貢献した。他にも競技艇の積み下ろしや運搬、乗艇の補助や検艇作業（競技艇を測定し計量すること）のサポートを実施し、アスリート同士で親しく談笑する姿も見られた。



参加者(すべて香川支部)

3541 三島誠司	4452 松尾 祭	4583 古田祐貴
4894 原村拓也	4931 木谷賢太	5032 谷口知優
5037 田頭虎親	5059 富田 祥	5265 大廣咲季
5298 水谷理人	5339 石井伸長	5352 西岡蒼志

事務局 3名